児童発達支援　事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年5月1日　　事業所名　ウキウキはなさく石橋教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		学習スペース、活動スペース共に十分な広さを確保しています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		配置基準を守り、適切に配置しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		バリアフリー化の配慮した構造、スロープや手すりを設置しています。ポスター掲示やホワイトボードでの予定表示などの視覚支援を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の清掃の仕方を全スタッフが統一して行えるようマニュアル作成し清掃を行っています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		毎日の職員ミーティングや課題検討などで随時意見交換を行っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		お子様と保護者様のニーズを把握し、様々な職員からの意見を取り入れ個別支援計画を作成しています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		アンケート後、全スタッフでミーティングをし、業務改善に努めております。 ホームページにて掲載しております。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		第三者による評価を基に、業務改善に努めています。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内研修を行っています。外部研修への参加も積極的に行っています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		お子様と保護者様のニーズを把握し、様々な職員からの意見を取り入れ児童発達支援計画を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		契約時に基本情報という様式にてお子様の初期状況の情報提供をしていただいています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		十分にアセスメントを行い、ニーズに合わせて設定しております。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		日々のミーティングで支援計画の確認作業を行う事で計画に沿った支援をしております。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		ミーティングを行い、活動内容・担当決め・活動中の留意点について確認しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節やイベントの活動を取り入れています。こども会議などでお子様との気持ちの交流をしながら決定することもあります	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		個別課題と集団活動時の課題の両方の視点から個別支援計画を作成し、それを職員間で共有しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		ミーティングを行い、活動内容・担当決め・活動中の留意点について確認しています。	

児童発達支援　事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年5月1日　　事業所名　ウキウキはなさく石橋教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		職員間での振り返り共有をしています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個別支援計画に基づき支援記録を記入しています。支援計画の見直しや作成に活用しています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを実施し、保護者様のニーズ・支援記録・中間評価なども参考に計画の見直しをしています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		お子様の状況に精通した担当者複数名で参画させていただいています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて情報共有を行っております。	
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—	—		該当する児童が通所しておりません。
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	—	—		該当する児童が通所しておりません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて情報共有を行っております。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて情報共有を行っております。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		専門機関に出向き、助言や研修を受けております。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		公共施設や公園で近隣のお子様との交流をしております。	
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		積極的に参加させていただいております。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日頃から送迎時にご家庭でのご様子を伺い、教室での活動のご様子をお伝えし、共通理解の元支援していけるよう努めています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		専門職のアドバイスのもと、随時行っております。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明しております。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		保護者様へ書面・口頭をお伝えし、署名捺印で同意を得ております。	

児童発達支援　事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年5月1日　　事業所名　ウキウキはなさく石橋教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		随時、子育てや障がいについてのお悩みやご相談に応じています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナ渦で現在開催できていませんが感染予防を行いながら実施していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		契約時の書面にて苦情・相談窓口の記載をしています。 今後も継続して苦情・相談があった際はすぐに対応してまいります。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		行事予定表や支援計画に半年の予定表を記載しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		全スタッフ入社時に秘密保持について契約書を交わし、徹底しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		適宜適切な方法で対応をさせていただいています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナ渦で現在開催できていませんが感染予防対策を行いながら随時行っていきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアル作成し、ファイリングし閲覧できるようにしています。保護者様へは契約時に書面でお渡ししています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月に一度、各種訓練を実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		保護者様からの情報(医師の指示も含む)に沿った対応、且つ全職員に周知しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者様からの情報(医師の指示も含む)に沿った対応、且つ全職員に周知しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		全職員が閲覧できるよう、ヒヤリハット事例集をファイリングしています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止の研修を半年に一度実施しています。外部研修へも積極的に受講しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		「身体拘束を行わない」という方針のもと、専門性の向上に努めています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。